

国連麻薬委員会第 67 会期

2024/03/14

国連人権高等弁務官事務所

国連麻薬委員会第 67 会期が開催され、人権高等弁務官が発言した。内容は以下のとおり。麻薬使用者が急増している。死刑を含む犯罪化は、麻薬の使用の減少や麻薬関連の犯罪の抑止につながらず、麻薬の使用や政策の失敗はますます多くの生命を破壊している。大規模収容、コミュニティの汚名・貧困・暴力、恣意的拘禁、殺傷能力のある武器の使用とその不処罰が生じている。麻薬使用者を犯罪者として非難せず、彼らの置かれた状況を尊厳と権利を通して見なければならぬ。医療・依存症治療・被害低減サービスへの自発的なアクセスを確保する、インクルーシブでジェンダーに敏感な麻薬政策が必要である。この立案・実施・評価は、麻薬使用者、影響を受けるコミュニティ、若者、市民社会組織の有意義な参加を促進するプロセスを通して行われなければならない。また、アフリカ系・先住民・周縁化された人々に対する法執行における差別根絶が急務である。